

京都労山

2025年8月号

No. 386

発行日

2025年7月22日

発行所: 京都府勤労者山岳連盟 発行者: 中村好夫 編集製作: 機関誌委員会 発行: 毎月第3月曜日

所在地: ☎.616-8042 京都市右京区花園伊町4 ☎.075-275-0453 FAX.075-468-1793

【ホームページアドレス】 <http://www.dab.hi-ho.ne.jp/kyoto-rozan>



京都府勤労者山岳連盟

京都労山『六つの合い言葉』

- (一) 私達は、山を勤労者の身近なものにする為に力を合わせよう。
- (二) 私達は、登山によって健康な身体と豊かな心を育てよう。
- (三) 私達は、登山によって助け合う心と友情を深めよう。
- (四) 私達は、多くの人達と交流し山を愛する仲間を増やそう。
- (五) 私達は、力を合わせ正しい山のモラルと高い技術を生み出そう。
- (六) 私達は、安全で確実な登山思想を身につけよう。

7月号目次

* 六つの合い言葉・目次	
* ステップアップ 女性委員会	01
* 事務局長会議報告	02
* 自然保護セミナーの案内	03
* 自然観察会の報告	04
* 無雪期搬出訓練の報告	08
* クライミング委員会山行報告	12
* 青年委員会クライミング体験会の案内	14
* 青年委員会クライミング体験会の報告	15
* 大文字山登山道整備の案内	16
* 大文字山登山道整備の報告	17
* 能登半島地震被災者支援活動の報告	18
* 創立60周年記念事業第7回実行委員会の報告	20
* 創立60周年記念事業第8回実行委員会の報告	21
* 連盟交流会の案内第2号	22
* 全国登山者研究集会の案内	23
* 第27回全国自然保護講座の案内	26
* 連載企画・二百名山登頂シリーズ第54回守門岳	27
* <追悼>土田伸孝さんを偲ぶ	28
* 8月号の案内	29
* 連盟月間予定表「カレンダー」	裏表紙

残りの人生 儲けもの？！

テレビのとある番組だったか、人間の心臓は15億回打ち続けると50年の寿命と言っていた。小動物は拍動が早く寿命が短いとか何とか、。

1分間で60～70回打つ人間は50才が寿命？？ エッたった50年なの？
50才はとうに過ぎ去った私、超生きてるよ～！

だったら50才以降は残りの人生なのだ！人生100年時代と言われて久しい、好きな山にドブプリ浸かっても良い、この先は儲けものなのだ、(^_^)

若い頃から山歩きはしていたが50才を期に知り合いに進められ、某会へ入会した。

沢山学び、徐々にのめり込んだ。今はモウ、歩く事が生活の一部に成っている。

1年前、入院した時には病院の長い廊下を朝、昼、夕方と何度も往復ウロウロ、お腹を押さえ歩いた。歩けなく成ったらどうしよう？と歩く事の強迫観念かな？

ジッとしてられなかった。

女性委員会に関わるようになったのは今から18年位前、兵庫の女性委員会の講座で勉強させて頂き、京都と違うな、と感じた。講座内容の知識の高さだった。そこから京都女性委員会の委員に成りSさんTさんKさん他の方々達と毎年講座を開いた。募集しても来なくて中止に成ったり、秋頃から春先に変えて見たが、さしたる変化も無く、又秋頃に変えたり。

切磋琢磨しながら講師をした自分達も学ぶことが随分多かったように思う。

受講して頂いた方々から(楽しく学べた、山が増々大好きに、のめり込んだ！読図も面白い)等々言葉を頂いた。又ある受講生は退職してアルプスの山小屋で仕事をしていると聞いた時は本当にビックリ！山好きが増え嬉しくて講座を開いて良かったと心底思った。女性委員会冥利につきる。

ちなみに女性委員会が始まったのは1968年4月に大阪府連が(婦人部)を発足。

1971年10月に兵庫県連が(婦人部)を発足

京都は1976年に(婦人部)発足。

その年に第1回女性と登山についての全国討論集会在兵庫・西宮で実施された。

今の(女性委員会)に名称変更したのは1984年～から。

大阪、兵庫、京都、奈良、和歌山共に(婦人部)から女性委員会と成る。

1987年に近畿ブロックとして初めて女性委員一同集まり、学習会を開いた。

委員仲間達と沢登りや岩登りアルプス大縦走等実施していた。とも聞いた。

長い事委員として関わるように成って、担当者会議、近畿ブロック集会やお泊り交流会、全国交流会と体力のある限り参加して学んだ。楽しい事もしんどい事も上げると切りが無い。しかし寄る年波には勝てない。委員会に次世代の力が乏しく、若い方の委員に成り手が無い。

とうとうムチ打つ体は力尽きかけている！どうしたものか！

京都の女性委員会も他の委員会と同じく、高齢委員に成ってきました。

この場を借りて、委員に成って頂く方を募集させて頂きます。

元気な69才までです(*▽*)

力強い言葉、やるよ～って言う方いませんか～吉報を待っています！

儲けた人生！元気に行きましょう！

女性委員会 委員長 平田和子

事務局長会議報告 （各会と連盟の活動報告・意見交換・情報交換を目的に開催）

7月1日報告のみ： やましな,乙訓,右京,左京,西山,伏見,洛中 7 労山報告有り

各会の活動状況(前月の例会や集いの実施状況・予定等)[各会・クラブ機関誌参照]

- ・[右京]<例会>6/8 布引の森里山歩きと「マナスル登頂」話 7+4 人,28 金比羅岩稜トレ 5+1 人<予定>7/13 能勢妙見山,7/19~21 バスハイク立山連峰 3 コース<その他>7/25 山の集いズームで交流「応急手当・サムスプリントの使用法」
- ・[やましな]<例会>6/16 うたごえの集い 15 人,21 平和行進ラクト公園 10 人<予定>7/6 夏山備え比良 12h トレ,18~21 白山<その他>40 周年 12/7 懇親会ミヤコメッセ,公開バスハイク 10/12~13 八ヶ岳、6 月末会員数男 35+女 41=76 人
- ・[西山]<例会>6/15 表六甲シリーズ①ゴロゴロ岳 13 人,25 光明寺裏トレ 14 人<予定>7/5 蓬莱山、12 雲ヶ畑市ノ瀬~西賀茂,14~15 梅池<その他>6/8 第 2 回山行計画会議 25 人参加、今年中の山行予定決定、7 月末で 6 人入会総会員数 151 名
- ・[左京]<例会>6/16~19 東北・森吉山、秋田駒、八幡平 2+5 人<予定>7/5 剣尾山,26 半国山<その他>6/25 「左京総会&夏山について他」 13 人+委任状 5
- ・[乙訓]<例会>6/21 交野山 11 人,27~29 戸隠・高妻山（テント） 3 人<予定>7/5~7 鳳凰三山縦走,27~29 夏山集中登山（バスハイク 3 コース） 鹿島槍・爺が岳・針の木<その他>6 月末会員数男 40+女 50=90 名
- ・[洛中]<例会>6/7~8 三重・奈良大普賢岳 3 人,15 読図山行天王山 9 人,29 お試山行つつじ尾根 9 人<予定>7/11~12 新潟火打山、20~21 夏山トレ白山
- ・[伏見]<例会>6/7 伏見搬出訓練 19 人,22 岩稜トレ 13 人、金比羅三山 16 人<予定>7/16 愛宕山トレ、26~28 夏山バス山行八ヶ岳（4 コース）<その他>6 月 19 日つどい「80 歳の壁を超えて登山を楽しむ」会員 3 名からのお話があった。

連盟の取り組み、活動報告 （連盟の取り組みや活動状況を連盟事務局から報告）

- ① 無雪期搬出訓練 6 月 22 日(日)実施。遭難対策部主催。らくなん山の会が救急法を担当。安祥寺林道入口。12 労山、受講生 63 人+スタッフ 30 名。参加者が多くスペースが狭い。次回救急担当の田辺から 23 名参加有。初級の受講生も手伝う。
- ② 第 16 期初級登山学校 7 月 25 日~27 日修了山行実施。西穂~奥穂ルート。
- ③ 2025 交流会 11 月 8 日(土)予定。第 1 回のお知らせ京都労山 7 月号に掲載。
- ④ 全国連盟より会員証更新案内届く。手元の会員証の期限が 2025 年 12 月まで。
6 月会員データ受取→8 月 4 日迄に各会から全国へ報告→11 月新しい会員証送付。

8 月の事務局長会議は、夏休みとします。月初に報告のみお願いします。

第一次案内

2025 年度 京都労山自然保護セミナー

連続テーマ「北陸新幹線延伸計画」の環境問題を考える（7 回目）

自然保護委員会

講 演：「巨椋池干拓地の鳥類と新幹線車輛基地」（仮）

日 時：2025 年 12 月 13 日（土）13:30～16:30

会 場：京都教育文化センター 301 号室

講 師：日本野鳥の会京都支部から

定 員：60 名 会員外の一般参加も歓迎です。

参加費：300 円

申込等詳細は、「京都労山」の次号以降で案内します。

2018 年 12 月の新聞記事「美しい自然・景観を壊す北陸新幹線延伸計画」「地下水の枯渇・減少を懸念」が発端となり、自然保護委員会ではこの問題にとりくみ、学習と署名に取り組んできました。今回は連続テーマの 7 回目です。北陸新幹線延伸計画の車輛基地予定地の巨椋池干拓地は、京都府有数の豊かな鳥類の生息地で、希少野鳥も多く棲む重要なエリアです。「明かり区間」となり、車両基地が建設されれば、農地が失われ鳥類等の生息が脅かされます。日本野鳥の会京都支部など 3 団体は、今年 3 月京都府知事に対して、計画の中止を含む行政勧告を求める要望書を提出しています。

オプション企画 現地での観察会

テーマ：巨椋池干拓地に生息する鳥類

日 時：12 月 20 日（土）午前

講 師：日本野鳥の会京都支部

定 員：20 名

行 程：近鉄小倉駅から徒歩で現地へ（約 40 分）

参加費：別途（700 円位予定）

【報告】

清水正さんの“自然と遊ぼう”パート9」

2025 年自然観察会 「嵯峨 観空寺谷」

京都労山自然保護委員会

〈実施日〉2025 年 6 月 28 日（土）

〈場 所〉京都市右京区嵯峨観空寺岡崎町

〈案 内〉清水正氏（NPO 自然観察指導員京都連絡会代表理事）

〈参加者〉23 名

会員 22 名（田辺 1 名、右京 2 名、明~~峯~~ 2 名、洛中 4 名、やましな 7 名、
樹ノ根 17 組 1 名、乙訓 1 名、西山 4 名）＋講師

〈行 程〉10：00 大覚寺駐車場～観空寺谷～14：40 大覚寺駐車場 （約 4 km）

〈全体報告〉

「嵯峨観空寺谷」とは、聞き慣れない地名です。冒頭の講師の清水先生のお話で、観空寺は、平安時代に嵯峨天皇が創建、その後、荒廃と復興を繰り返し、江戸時代に修復され、現在は観音堂となっていて、町名になっているとのこと。

前日に近畿地方の梅雨明け報道があり、当日は朝から猛暑です。今回は、しばらく民家の間を進み、有栖川橋を渡ると観空寺谷林道となり、片道 2 km あまりをゆっくり自然観察しながら進み、折り返し戻るコースです。先生の話が最後尾の方に届くようにスピーカーで話してもらい、また説明された植物や樹木の名前がわかるように、ホワイトボードに書いたり、付箋をつけて進みました（付箋は最後に回収）。大覚寺駐車場を出発し、街路樹のヤマモモなどの観察、そしてカキノキ（柿）の実の話（落ちている実は自家受粉によるよくない実を自分で落としたもの、蜂などが媒体となって他の木から受粉することでしっかり着果する）は興味深く聞き入りました。観空寺林道に入ると、それまでの暑さとうって変わり、木陰の道が涼しくなりました。道端の植物観察、ヤブガラシの花は黄緑でオレンジの蜜は昼間には虫が食べて無くなってしまう話、またこの時期竹林でキヌガサタケを期待しましたが残念ながら見つからず、カクミノスノキの角張った実、コウヤボウキの 1 年目と 2 年目の異なる葉形、キノコのイグチ類の特徴（傘の裏がヒダでなく繊細な管孔のもの）、シンミズヒキとミズヒキとの違い（ミズヒキの葉には八の字の黒い紋がある）等々、次々と植物の説明を聞きます。1 時間半ほど進むと、かつての時代劇「剣客商売」（藤田まこと主演）のロケ地となっていた広場に到着。ロケ中には主人公の居宅が建っていたそうです。クモランを観察。広場では、数日前の下見で出会えなかったニワゼキショウを発見、ピンクのネジバナ（ランの一種）、湿地の水辺の上を見上げるとモリアオガエルの卵塊がいくつもありました。昼食後、さらに林道を進みます。最後尾から声が上がり戻ると、何と小さな黒い花をつけたラン、先生からコ克蘭という説明があり、その出会いに感動しました。湿った植林帯には去年観察したハエドクソウ、その後はクマノミズキの葉遊び、ネムノキ、レモンエゴマ

やワラビが群生する地点で折り返し下山しました。帰りに観空寺観音堂に立ち寄り（現在は観空寺町の公民館が併設されています）、解散しました。皆さん、暑い中、熱心に参加され、お疲れ様でした。

（報告：自然保護委員会 洛中牧村）

〈観察会で観察した植物〉（順不同）

[午前]：ヤマモモ、アカメガシワ、カナメモチ、ミチヤナギ、ヤブガラシ、ヤブジラミ、エビツル、ウリカエデ、ツクバネウツギ、カクミノスノキ、コウヤボウキ、ミズヒキ、シンミズヒキ、ダイコンソウ、タカノツメ、コバノガマズミ、コケオトギリ、エゴノキ、ムラサキヤマドリタケ、キンミズヒキ、コナラのミニどんぐり、キレハノブドウ、ナナミノキ、マルバアオダモ、ニワゼキショウ他

[午後]：クサギ、ミズタビラコ、ハエドクソウ、ヌルデ、クマノミズキ、ノボリリュウタケ、イワナシ、コマツナギ、ボントクタデ、イグサ、ツルタケ、コシアブラ、アブラギリ、ツルタケ、ヤブムラサキ、ノムラモミジ、ネジバナ、ネムノキ、ウラジロ、レモンエゴマ、コ克蘭、テンダイウヤク他

〈参加者の感想〉

○西山 HC 安達さん

子供の頃から慣れ親しんできたニワゼキショウ、外来種だとは思ってもいませんでした。大変勉強になりました。

○西山 HC 山下さん

今日は自然観察会を実施していただきありがとうございました。下見もされたと小耳にはさみまして、ご苦労さんです！と感謝の念で一杯です。嵯峨観空寺谷は初めてで、どんな沢を歩いて行くのだろう？マダニは大丈夫か？などと、良く調べもせず心配していましたが町中の猛暑を忘れる有栖川沿いの木陰一杯の林道で涼しく歩けました。清水先生はお元気で、精力的にあの木この花そのキノコ、惜しみなく語っていただきとても興味深いものでした。ロケ地・着生ラン・アカメヤナギ・萩によく似たコマツナギ・観空寺などなど 初めての体験一杯でした。この地は初めてで、また会のハイキングに来るとよいなー！と思う良いコースでした！そして、大きなマイクを持って歩いたり、植物の名前をボードに書いてその都度見せてくれたり、後ろの方にもわかるよう名前シールを貼ったり、係の方もよくやって頂きました。男山・宝ヶ池・？・と何度か参加させて頂いています。いつも新しい発見があります。

○乙訓 松方さん

「観察会」の6月末は、草本・大木とも花の時期が終わっている。しかも大覚寺から観空寺谷は街なかの外れでもあり、見るべき物があるのかと思っていた。

しかし、清水さんは、目の付け所が違う。花がないだけに葉の形やつき方などに注目して分類し、的確に解説する。分類だけでない。身近な植物がもつ特徴をわかりやすく説明してくれた。カキノキ（種名は柿でない）は花が咲いたあと

小さな実をたくさん落としているのを見かける。実は果物や野菜でも、自家受粉して実をつけるものもあれば、反対に自家不和合性で自分の花粉で受精しないようにする仕組みをもつ種類もあるそうだ。柿はそれにあたり、他のカキノキの花粉で受粉して初めて結実するそうだ。ブルーベリーが実をとるために2種類植える意味がこれでわかった。ムクゲは韓国の国花であり、夏から秋にかけて長く咲き続けることから、「無窮」という名前が付けられたそうだ。散っても散っても新しい花が咲くムクゲに永遠の力を感じるという。(日本では一般的に桜と菊が国花として扱われている。菊は皇室の紋章やパスポートの意匠に使われていることから、菊は国の象徴として認識されている。ムクゲを国花にすると韓国(朝鮮)の人は素晴らしい。)」
「剣客商売」は好きなドラマだが、秋山小兵衛(藤田まこと)の隠宅のロケ地とは知らなかった。取り壊されているが雰囲気が残っていた。楽しくて勉強になった観察会だった。

○洛中 藤田さん

例年より早い梅雨明けとなった6月末、初めて自然観察会に参加させていただきました。今回は嵯峨大覚寺を起点とする里山、どんな草木花に出会えるのかな?と楽しみに出発。民家の庭木や空き地に生える雑草のことなど身近なものからお話を聞きながらさらに林道を進みます。青いままの実を落とした柿の木の下で、「自家受粉でできた実は自然に落ちるという自家不和合性」の説明、足元の実はそれなのかと初めて知りました。夏にきれいな花を咲かせる木槿(ムクゲ)は「無窮花」とも書き「終わりの無い花」として未来永劫を示し韓国の国花となっていることやハナミズキとヤマボウシの見分け方など、それぞれの植物の特徴やストーリーとでもいうお話にどんどん引き込まれていきます。また観空寺谷辺りは太秦の撮影所から近いことからロケ地として撮影に使われることもあり、藤田まことの「剣客商売」では小屋のセットも建てられていたとのことで帰ってから早速 Amazon プライムでドラマを探して見るなどおまけの楽しみもありました。講師の清水先生の、草木花を愛でながらお話いただく自然観察会はまわりの自然をよりいっそう身近に感じる一日でした。自然観察会の委員の方々が、植物の名前をホワイトボードや付箋を使って示してくださり、わかりにくいカタカナ名前を正確に知ることができたのも大いに助かりました。他の山の会の方々と話す機会にもなり、またこのような機会があればぜひ参加したいなと思いました。

○やましな 射場さん

清水さんから事前に頂いた観察会の案内文は、どんな所なのか?予想がついてよかったです。私たちも映画のロケに出かけるような気分です。バスターミナルのそばの大覚寺の松のことについて、下見の時ですが、話してもらいました。松の葉は、2葉、3葉、5葉とあり、大覚寺の門の中の松は3葉で外来種。どうしてお寺に外来種?と思いました。柿の青い実は自家受粉したものは遺伝子劣化になる

ので全部落とす代表的な木。ヤブカラシのつるは別名・貧乏づると呼ばれ厄介者になっているが、黄緑色の花は蜜がよく出るから虫には喜ばれています。クモランは、クモにそっくりです。下見の時にマルバヤナギにゲンジボタルがとまっていた。夜にはホタルの乱舞を想像しました。その時には見られなかったモリアオガエルの白い泡が、今日は木にぶら下がっています。ニワゼキショウは子どもの頃よく見ていましたが、名前は知りませんでした。他にも昔見た植物がみられなくなりさみしい限りです。コ克蘭は京都府要注目種だそうです。黒紫色の小さな花が草の陰にひっそり咲いていました。写真を撮ってもらって注目の的でした。ネジ花がラン科とは意外でした。この地域は、京都市風致保全地区に指定され、保存するためには苦労もあるそうです。そのおかげで貴重な植物があり、映画のロケにも使われる場所なのだと思います。今日は、特に教えてもらうことが多かった観察会でした。みなさんはいかがでしたか?清水さん、有難うございました。

○洛中 牧村

毎年の観察会を楽しみにしています。観空寺谷という知らなかった歴史的な地名にも惹かれ、恒例のごとく道端の植物の特徴や名前やその言われを知る機会になり、いつも興味深いです。先生の話は色々ありましたが、そのうちの一つ、葛の葉は、普通は葉を太陽にむけて広げているが、晴れて暑くなると、水分蒸発を防ぐために両手をあげるように葉を立てて表面積を減らし、葉裏の気孔を閉じるという。植物も生存する為の知恵を持って自然の営みをしている話に驚きます。動植物を含む自然界のしくみやつながりを学ぶ機会になります。



観察会風景



コ克蘭



ヤブガラシ



観音堂

2025年京都労山無雪期搬出技術講習会報告

遭難対策部

実施日時：2025年6月7日（土） 事前練習会（11 労山 13 名）
6月22日（日）搬出技術講習会

参加状況：一般参加 66名（A 班30名 B 班7名 C 班29名）らくなん・山城・田辺・伏見・やましな・乙訓・西山・洛中・明峯・WAO・福知山の11 労山
：講師スタッフ 30名（初級受講生12名含む）らくなん・田辺・伏見・やましな・乙訓・西山・右京・洛中・明峯・左京・福知山の11 労山

記録：

8：00 講師・スタッフ 現地集合 打ち合わせ
8：15～ カラビナスルー用 Fix ロープセッティング（7 班分）
9：00～ 受付開始 遭対部員 3 名で対応 名札シールをヘルメットに貼る
9：30～ 開会 遭難発生時初期対応の説明
9：45～ らくなん山の会による三角巾を使った止血法、固定法の講習
10：30～ 7つの班に分かれ、ロープワーク・搬出法を学ぶ。
14：30～ 背負い搬送搬送のデモを全体でおこなった後各班で実践
15：00～ 各班まとめ
15：15～ 全体まとめ
15：00 閉会 解散

講習報告

山行中での応急処置を学びたいという要求が高いのか、総勢 96 名もの参加者となりました。コロナ禍以来となる、応急法講習に取り組んでいただいた らくなん山の会のご協力に感謝申し上げます。講師・スタッフについては、遭難対策部員と救助隊のメンバーを中心に、参加者の学びたいという思いに対応しました。当初、受講生の位置づけであった、初級登山学校のメンバーは、ロープワークの実践があったので、補助講師としてロープワークでの講師補助を担っていただきました。

遭難発生時の初期対応については、近ブロのテキストを使い、①まず落ち着いて観察すること②残ったものの安全が最優先で、二重遭難は絶対起こさないこと③生命の危険に繋がる兆候を見逃さず、止血や CPR を施すこと（要講習受講前提）④リーダーを確立することを説明しました。

らくなん山の会による応急法講習では、止血は直接圧迫法が基本であり、強く圧迫することで止まるはずであるが、止まらな



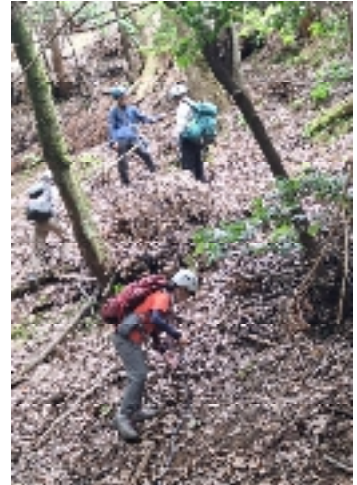
い場合に止血点を押さえる関節圧迫法を併用する。止血帯の使用は原則おこなわない。たたみ三角巾の作り方と手の骨折時の固定法も学びました。

ロープワークでは、幅広ロングテープを使った簡易ハーネスの作り方と、スリング・カラビナを使った安全確保法を学びました。また、非常用装備として携行が推奨されている6ミリの細引きを手がかりの支点として使う場合の結び方として、8ノ字結びを学ぶと共に、使用するナイロン製品やカラビナの弱点や注意点を学びました。鎖場などで使えるカラビナスルーは、安全確保の一環として講習をおこないました。細引きを手がかりとして、急斜面を登下降する際は、直接手がかりとするのではなく、簡易ハーネスとスリングカラビナを使って、細引きに確保されながら登下降することが重要です。

園芸用ネットを使った搬送は、多人数での搬出法として実践しました。トレッキングポールを併用、もしくは木の枝を使い、各班で工夫して作成し、10分から20分掛けて全体講習の場所まで戻りました。

少人数や狭路でも対応可能な背負い搬送は、雨合羽とザックを併用した方法と、トレッキングポールとザックを併用した方法を各班で実践しました。

最後に、各班でのまとめと全体のまとめをおこない、講習を終えました。



参加者の声

1 班

- ・園芸用ネットを用い簡易担架を作成し実際に搬送体験し大変と実感した。その場にある物で、安全確保し救助する体験ができ、事故は起こさない・起こしたくないものですが、日頃から知識として備えておくことは大切だと思いました。

- ・ザックにストックを取り付け人を背負う体験をしましたが、実際の山行でできるか不安です。他にも山に行くなら知っておきたい事を体験でき参加して良かったです。

- ・簡易ハーネスの仕方も参加を決めたおかげで何回も練習してほぼ覚えることができましたし、ロープワークについてもいざというときに役立ちそうな結びを根気よく教えてくださいました事に感謝します。今回学んだことは仲間を広げていきたいです。

- ・ネット搬送や背負って運ぶ方法をその時に在るもので工夫をして作るということも、いろいろと考えることが大切だなと思いました。

・カラビナやスリング、ロープを持ち歩くことは軽量化の逆となり悩ましいですが大事な装備だと感じました。

・応急処置方法はこれまで受けたのがなく、また三角巾は装備しているものの、使い方等分かりやすく教えて頂きましたが、实际けが人に上手くできるか不安です。



2班

・ロープワークのクローブヒッチやエイトノットを事前に練習した。

・ユーチューブで練習しました。

・名前と結び方が一致しないでしたが、講習で教えてもらい少し分かるようになりました。

・練習しましたが、本番で使うのが難しいと感じた。繰り返して実用に出来ればと思います。

・初めて参加しましたが、たいへん勉強になりました。

・練習したが、いざという時の対応が難しい。

・事故時の対応が難しいと感じた。

・搬出訓練でけが人の状態を観察し少しでも楽に搬出出来ればと思った。

・救助される方にならないように、より注意して山行に参加したい。

3班

・繰り返し参加することにより、少しずつではあるが身に付いてきた。 今後も参加したい。

・所属している会でスリングとカラビナを買うようにと言われ購入したが何に使うのか分からずにいた。今回参加してよくわかった。

・今回参加した人達が会に持ち帰って多くの会員に広めていきたいと思う。

・机上ではなく現場で訓練を受けることにより理解が深まった。

・今回習ったことを復習して、トラブルに遭遇した時に役立てれるようにしておかなければならないと思った。

5班

・ロープの結び方や太さによる安定度の違いを実体験できてよかった。

・支点の結び方やロープの張り方についても知りたい。次回はやってほしいとの声が 何人かからあった、

・ロープの結びの呼び方がいろいろあるが、現場では他の団体の人などとも救援にあたることもありいろいろ知っておくことが必要だと教わった。

・ロープワークは、真っ暗中でもできるように日々練習したい。

結び方は忘れるので繰り返しやる必要がある。 簡単な覚え方を教えてほしい。

・資料に載っていないロープの結び方も教われてよかった。その結び方の名前を教えてほしい。

・10年近く毎年参加している。三角巾の応急処置忘れていたが聞けて良かった。

・久しぶりに訓練に参加し、新鮮だった。積雪期の搬出訓練で後半の引き下ろし搬出は遺体搬出くらいで必要性が薄いのでやめて、その代わりにザック搬出等をやってはどうかと提案したい

・搬出方法、実際事故にあい生かせなかったこともあり、使える技術を求めてきた。知識として知っておくことと応用できることが必要だと思う。

※リュック背負いの搬出、初めて知った。

※初参加で各会の参加者から刺激を受けた。

6班

・他の会の方と交流できてよかった。

・ロープワークは忘れていたことがたくさんある。やって覚えたつもりになっていても身につけていない。実際にやってみることが大事だ。また、結び方ひとつをとっても、色々なやり方があることがわかった。

・応急処置は、まず落ち着くことが一番大事。そのときリーダーやサブリーダーはどう対処できるか。まずはこういう訓練に参加することが大事だ。

・この訓練が終わりではなく、始まりである。会に持ち帰って、実際の山行で活かせたらよい。

7班

・支点のセッティングの仕方にもついて、教えてもらえたらと思います。支点は、エイトノットよりもエバンスノットの方が分かりやすく早いのではないのでしょうか。エバンスノットの場合、不慣れな私でもより簡単にセッティングすることができました。

・カラビナスルーの待ち時間をロープワークの練習にあててはどうでしょうか。練習用のロープがいくつかあれば、繰り返し何度も練習でき、より身に付くと思われます。(たまたま初級登山学校で支給された練習用の太いロープを持参していたので、それを使って何人かで待ち時間に練習することができました。)

・下降する時、半マストでの下降もあるので、取り入れたらどうでしょうか。

・搬出訓練で習ったことは、各自所属する会に持ち帰り、共有することが大事だという意見がありました。

・応急処置に関して、手の固定だけでなく、足首などの固定についても教えて欲しかったという意見がありました。



クライミング委員会山行 報告

沢登り 《鈴鹿 朝明川・流れ谷》

日:5月31(土) 曇り、一時雨

メンバー:青山大(やましな)、内野(洛中)、岩根(左京)

今年初めての沢登り。当初は安曇川・日野谷・堂ヶ谷右俣の予定だったが、天候が今一だったので鈴鹿朝明川・流れ谷に変更する。

堰堤を5つ程越えて行く。水が少し冷たく余り濡れたくないなあが本音。しかし段々嬉しくなってくる。何せ初沢。小さい滝、チョックストーン、10mの滝と楽しんで登る。もっともここぞという所でトップでリードしてくれる人がいるからなんだが。落ち口で水を浴びるような所はカップパを着てガード。奥の二股の右股を辿り水が消え、ガレを登るのが一番シンドかったが。



ようやく登山道に出るとガス。しかしシャクナゲ、イワカガミがきれいだった。釈迦ヶ岳を目指すが強風で「引き返す勇気」とつぶやいて下山する。松尾尾根は少々ラフで急下りだった。こんな天候なのに単独行2名と出会ったのが可笑しかった。次は果敢に水と戯れる沢登りがしたい。



沢登り 《段ヶ峰 倉谷》

日:6月28(土) 晴れ

メンバー:青山(やましな)、内野(洛中)、岩根(左京)、梅若(乙訓)、坪山(明峰)

播但連絡道を降り、生野高原ゴルフ場を横に見ながら倉谷川沿いの林道をたどる。標高 460m林道横平坦地に梅若号を置き、身繕いをしてすぐに入渓する。水流により削り造られた美しい川床に出逢えたものの、基本は単調なゴーロ帯なので一旦林道に戻り歩を進め、一般的な入渓点を目指す。

再び入渓すると、小滝や滑滝、難しくない滝などが次々に現れ、皆を飽きさせない。10 ㍎強の一の滝はロープを出し左岸の草付きをリーダーがリードする。後続はアッセンダー等を使い安全を確保しながら登る。滝上には極彩色の不動明王石像が迎えてくれた。歩を進めるとナメの美しい溪相と思われるが、右岸よりの崩壊石の堆積によりガレ場化しているようだ。20 ㍎ほどの二の滝は右岸の傾

斜の緩い岸壁をめいめい登る。高度感はあるが、ホールドスタンスは豊富にあり、慎重に登れば比較的容易である。苔むした美しい滑床を過ぎると、山腹を横断する林道に突き当たる。ここは暗渠をくぐることになるが、手前 1.8 ほどの段差を、お助けひもの助けで突破。ここが最大の難所というのが皆の感想でした。林道上で小休止とする。林道の上部はさらに水流が少なくなるが、小滝や滑滝を越えていく。山頂に直接たどり着こうとルートを選び広葉樹の斜面を登ると、一瞬の藪漕ぎだけで頂上直下の主稜線に飛び出す。稜線上には登山者の姿も望見できる。三角点のあるなだらかなピークで沢装備を解く。

下山は、段ヶ峰の南稜を下り、途中から南東の尾根に乗り、入渓点近くに戻るルートを選択。コンパスと地図を頼りに下るが、尾根が境界線を成しているようで、人の形跡も有り難く予定ルートをトレースすることができた。やがて容赦ない日射しを受ける林道に降り立ち、ほどなく梅若号に戻り着替えを済ませて快適な沢山行を終える。

沢登り 《御嶽山 鈴ヶ沢 東股遡行～中股下降》

日：7月13(日) 晴れ

メンバー：内野(洛中)、岩根(左京)、青山(やましな)

林道歩きは最小限にして入渓、直ぐに綺麗な滝と綺麗なナメ。その後も、深い釜を持つ綺麗な滝とコンクリートで造られたような綺麗なナメが次から次と。特に大滝は圧巻！ で、この高巻中にヒヤリハット、掴んだ枝が折れてスリップ(地味にヤバかった…) & 膝強打…、その後の行動は、膝の痛みと共に…。

思っていたよりも水量は多く水も冷たい、だから泳ぎ、滝身直登はなしで、大きな滝は基本巻。数か所嫌らしい所はお助けだけの処理で通過できた。

時間的に上部の大滝は諦め、ショートカットルートを選んで尾根の乗越へ。背丈ほどの笹藪から始まり、足元の見えない藪に隠れた倒木とその隙間に奮闘、時間がかかった。下りはコレと言った難所もなく、乗越で消耗・消費した体力・時間を気にしながら淡々と。ギリギリ、ヘッ電の出番なく下山できた。



〔青年委員会&丹後山の会コラボ企画〕

クライミング体験会の案内

クライミングをやってみたいと思っている人向けに、クライミング体験会を行います。

裏六甲の烏帽子岩でフリークライミングを楽しめます。

青年のみなさん、エンジョイクライミングしませんか！！

初めてで装備もないという方は、ハーネスとクライミングシューズはお貸しできるかもしれませんが、お気軽にお問い合わせください。

記

行き先 烏帽子岩

山行日 第5回 2025年 8月24日（日）

第6回 2025年 9月 7日（日）

第7回 2025年 9月21日（日）

集合場所・時間 各回とも JR 福知山線 道場駅 8時

参加対象 60歳未満の京都労山会員、または丹後山の会会員で、
労山基金5口以上加入、またはそれに準ずる山岳保険に加入している方。

装 備 クライミングシューズ、ハーネス、ヘルメット、
昼食、飲料、あればその他クライミング用具
(ハーネス、クライミングシューズはサイズによってはお貸しできる場合があります。)

申 込 山行日1週間前までに、川端純子（丹後山の会）宛に
メール asytjjun@yahoo.co.jp、または個人LINEで申し込んでください。
参加日、所属会、連絡先、緊急連絡先もお知らせ下さい。
装備等のお問い合わせもお気軽に上記連絡先へお願いします。

その他

- ・ご都合のよい日のみの参加でOKです。
- ・定員があります。
- ・クライミングは危険を伴います。事故などの責任は負いません。
- ・参加者は所属会の山行規定に従い、必要な届け出を済ませてください。

〔青年委員会&丹後山の会コラボ企画〕

クライミング体験会（第4回）報告

青年委員会担当・丹後山の会 川端
純子

〔2025年 7月 6日（日）烏帽子岩〕

参加者 青年層3名、丹後山の会1名、スタッフ1名（福知山山の会）

第1回と第3回は雨天中止としたので、今回は2回目となりました。

前回から参加の4名と今回初参加の1名の5名でクライミングを楽しみました。日曜日なので、どれだけ混雑しているだろうと思いながら向かいましたが、なんと他のパーティーはおらず、貸し切りでした。暑すぎて、みなさんもっと涼しいところに行かれたのでしょうか？ ぽつりぽつりと他パーティーが来られましたが、全部で数組程度で、平日より空いている感じでした。ゆっくり、心ゆくまで登れてよかったですが、暑かった！！

〔登ったルート〕

- ① イジわるおヨネ（5.10a ルート）
- ② V字谷（5.8）
- ③ イナバウワー（5.10b）
- ④ アルゼンチリ（5.10b）
- ⑤ いないいないバア（5.10a）
- ⑥ ゴールデンハーフ（5.9）
- ⑦ 桃太郎（5.9）
- ⑧ ピーチ（5.10a）

〔参加者感想〕

2回目のクライミング体験会に参加しました。

暑い中リードやビレイをしていただきありがとうございました。

（らくなん山の会 小幡貞輝）

今日は暑く、前日の疲れ？もあり、体力不足を感じました。山登り、クライミングの前日は体調を整えのぞむ事が満足に繋がる山行に成ることを実感しました。でもクライミングのヒョコの私はビレイの練習をさせてもらいプラスはあり参加して良かったです。有難う御座いました。

（丹後山の会 澤谷 雅男）

京都府連盟登山道倒木整備 一大文字山を整備しよう

これまで登山道を使った感謝の念と恩返し、多くの登山者の安全のために

安祥寺上寺跡右俣登山道周辺の整備を行います。ここは谷が狭く、太く長い倒木が密集しているので今まで以上に危険が伴います。作業前には十分に打ち合わせと危険予知を行い、作業中も声を掛けあってケガのないように行動します。

これまでと同様に参加者の力量に応じて、力のある人はノコギリで倒木伐採、大木運搬、力のない人は小枝切り、小枝整理、声援と分担して行いますので誰でも参加できますのでご安心下さい。ケガをした場合は労山基金も対象になります。

登山道整備は京都大阪森林管理事務所の承認を得て実施しています。伐採する倒木には1本1本管理事務所の伐採許可番号札が貼り付けられています。

みんなで頑張って楽しく安全第一で整備しましょう。参加をお待ちしています。

★実施日： 8月23日（土曜日）9月27日（土曜日）10月18日（土曜日）

本降りは中止。小降りは状況によって実施。天候が怪しい時は前日か、当日の朝早く判断して中止メールを送ります。

怪しいなと思った時はメールを見て下さい。

★申し込み締め切り：実施週の月曜日

★集合場所：JR山科駅改札口付近 8時30分には出発します。

★参加申込先：連盟登山道整備担当 青山郁夫

080-3797-4392 携帯メール 2382m.ikuoi1025@ezweb.ne.jp

留守宅（緊急連絡先）も教えて下さい。

★参加条件：労山基金を含め山岳保険加入者

★持ち物：カップ、ヘッドランプ、レスキューシート、タオル、安いゴム手袋（なければ軍手）お弁当、救急薬品 ヘルメット（必携）、ノコギリ（なければお貸しします）、長靴（任意）、スパッツ（任意）、笑顔（必携）

★共同装備：ロープ、ビニール紐、カラビナ、サムスプリント

★その他

- ・作業の前には危険予知を相互に行い安全作業に努める。
- ・木が1/3切れたら声を掛けること。1/3でも突然、木が切れ落ちることがあるので注意！
- ・木を切る前には切れた木がどちらに落ちるか、跳ねるか常に予想して退避方法を考えておくこと。
- ・切った木を運ぶ時も木がどう動くか予測しておく。
- ・コロナはまだ続いています。

本人や同居家族で微熱や、咳、喉の痛み等がある場合は参加を取りやめて直ぐに発熱外来に行ってください。



京都府連盟～大文字山登山道倒木整備報告～

連盟登山道整備担当：青山郁夫

ごめんなさい。前回の 5 月 24 日市岡晴美さんも参加でした。

2025 年 6 月 7 日（曇り）

やましな：青山郁夫, 久子 右京：西村澄子 右京：西村澄子 荒木賢子 村上明彦
田辺：宮内毅 乙訓：西村悦治 8 名

山科駅 8:30--9:04 休憩 9:12--9:30 合流点右俣周辺整理（西村さんと今後の整備
予定の右俣視察。上寺跡へ）15:26--16:10 山科駅

西村澄子

谷の斜面や、中の落ちてた木々を拾ったのでキレイに成りました。最後に、下の森の中でのオカリナコンサート、とても良かったです。

荒木賢子

男性 4 名 女性 4 名 計 8 名での作業でした。大勢で作業すると仕事も捗りました。帰りに、オカリナのコンサートを楽しみました。充実した一日でした。

村上明彦

谷に横倒しになった倒木を引き上げるのに苦労しました。この共同作業はみんなの信頼関係があってこそです。

宮内毅

いざ大文字山へ！今回は大型鋸を 2 丁手に入れ気持ちも高揚気味で家を出る。倒木を試し切りする時間が待ち遠しい。

やっとチャンスが来た。鋸の切れ味が違う早く切れる又来月も大文字山に行くぞう～。

青山久子

今回は夕方からのオカリナコンサートを楽しみに頑張りました。

右股の整備は今後どのくらいの月数が掛かるのでしょうか。安全第一でやりたいと思います。

青山郁夫

やっと右俣の整備が始まりました。初日で合流点周辺がすっきりしました。



倒木を切り出す



谷の中も綺麗に



登山道も谷もすっきり



美しく据置き

第 39, 40 回 能登半島地震復興支援ボランティア報告

連盟ボランティア担当 青山郁夫

第 39 回 活動日：2025 年 6 月 5 日, 6 日 727km 走行

参加者 やましな：青山郁夫 久子

6/4 京都 11:07—小丸山城跡見学—18:08 農遊庵泊

6/5 農遊庵 7:52—保育園—天神川原被災者宅—旭仮置場倉庫搬送—保育園—17:38 農遊庵泊

★参加者：全体で約 35 人 班員 10 人

★活動内容：被災者宅の建屋と倉庫の物品分別搬送

6/6 農遊庵 4:33—金沢駅からボラバス 6:59—10:00 珠洲ボラセン—三崎町伏見被災者宅—仮置き場搬送—珠洲ボラセン 15:35—ボラバス—18:37 金沢駅 18:50—22:49 京都

★参加者：全体で 19 人 班員 10 人

★活動内容：被災者宅倉庫の物品分別搬送

青山郁夫

8 か月ぶりの珠洲市。地震で傾き豪雨で浸水した倉庫の物品分別。作業をしている時に「わ」ナンバーのトラックに乗った若い中国人の夫婦がやって来て金属を積もうとした。参加者の一人が「あかん」と声を掛けた。彼らはここの家主さんに事前に了解をもらって来ていた。参加者が家主さんに「断れ」と言って家主さんは「ごめんね」と言って引き取りを断った。その時の中国人夫婦の悲しげな顔が忘れられない。了解をもらって遠くから金属をもらえると喜んできたのに。輪島市では家主の了解があればもらえる。珠洲市はどうなのか知らないので何とも言えなかった。今でも中国人夫婦が可哀そうでならない。

青山久子

1 日目の七尾市は公費解体でないお宅のかたづけ。家主さんが一緒に動いてくださったので、スムーズに事が進む。

2 日目は久々の珠洲市。少しは復旧しているかなと思っていたが、倒壊家屋はそのまま、公費解体中の家と更地が目についた。

震災から 1 年 6 ヶ月、水害から 9 か月経つのに、未だにボランティア活動を必要としている能登の状況を憂う。おらっちゃ七尾内での宿泊が出来なくなり、キャンプ地でのテント泊を復活するか、民宿を頼るか…高速の無料措置は 9 月末まで延長されて、ホッ。



6/5 作業完了良かったね



6/6 水害の倉庫の中はまだ一杯



珠洲市も倒壊家屋がそのまま

第40回 活動日：2025年6月15日(17日) 1117km 走行(内能登半島周遊 240 km)

参加者 やましな：青山郁夫 青山久子

6/14 京都 12:27--19:00 農游庵泊

6/15 農游庵 6:30--7:52 門前武道館--9:06 門前町中谷内被災者(碧雲寺)宅 14:00--長寿大
仏-根木ボラ待ちやぐら-鹿島神社-能登鉄鹿島駅-17:47 農游庵泊

★参加者：全体で15人 石川県連8人 トイレン5人 京都2人 車8台

★活動内容：お寺の崖崩れ個所に重機が入れる様に樹木と倒木伐採運び出し

6/16 農遊庵 7:32--保育園-旭町仮置き場倉庫からななかりサイクルセンター (3回) 浅井商事搬送-
保育園-17:35 農遊庵

★参加者：全体で17人 班員11人

★活動内容：おらっちゃ七尾の旭仮置き場倉庫の物品運び出し搬送

6/17 能登半島北東部周遊 農游庵 6:43--中居ボラ待ちやぐら-波並海岸-藤波運動公園仮
置き場-遠島山公園-羽根神社海岸-千畳敷-九十九湾観光船-九里川尻コ橋-能
登町ボラセン-恋路海岸-見附島-逆さ杉-珠洲市ボラセン-道の駅狼煙-能登半島先端の
緑剛灯台-椿展望台-ゴジラ岩-大谷町 16:46--0:04 京都

青山郁夫

今回の石川県連の活動はチェーンソーが大活躍。直径40cm以上の倒木を短時間で輪切りにした。チェーンソーは危険なので一般ボランティアでは使用しない。お昼に住職さんが作ってくれた地元の醤油を使った野菜汁を頂いた。とても美味しかった。これで崖崩れ個所に重機が入れる。汗まみれ泥まみれになって達成感を味わえた

旭町仮置き場倉庫の中は被災品が一杯。物品搬送はとてもやりがいがあった。

初めて能登半島を周遊した。まだまだ倒壊家屋が至る所にあった。復興は遠い。

青山久子

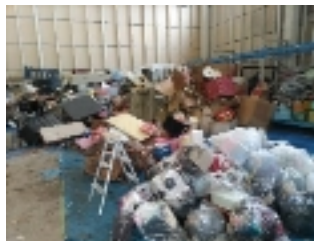
さすが石川県連はやるのがダイナミック！京都で細々とやっている倒木整備とは違って、チェーンソーが大活躍。昼食にいただいた野菜汁は最高のお味！

翌日のおらっちゃ七尾では、旭町倉庫の整理とナナカリサイクルセンターへの搬送作業。倉庫での作業は地道だが、必要不可欠。やり甲斐もあった。

翌日、珠洲市まで足を延ばしたが、まだまだ…道の駅も閉まったまま、ゴジラ岩には隆起して歩いて行ける。ループの国道は通行止め…



6/15 お寺の倒木伐採中



6/16 旭町仮置き倉庫 一杯あった



6/17 美しい緑剛灯台

第7回実行委員会(京都労山60周年記念事業)

記録 平尾

2025年6月18日(水) pm7時30分～8時20分 (リモート専用)

参加者:花折(明峯)、近藤(乙訓)、高木(右京)、山本(洛中)、宮内(田辺)、金山(福知山)、岩井(伏見)、青山大(やましな)、岩根(左京)、安田(らくなん)、沖(山城)、西村、高野、坪山、平尾(連盟)/15人 敬称略

<今回の内容>

1 2025 交流会について

○担当でライン会議を実施(6/10)、詳細を検討した。

- ・11月8日(土)、日帰りで実施 (宿泊はなし)
- ・場所:「あかまつの丘 西本梅」(小学校跡地) 南丹市園部町
予約は3ヶ月前(8/1～)からなので、八木市民センターを予備におさえたマイクロバスによる送迎あり レンタカー(25人用、運転手つき)
- ・内容:午前は交流ハイク(深山)か研修集会の選択制、午後全体集会(講演など) 研修集会と全体集会の中身については、次回会議でつめる
- ・費用:必要経費は連盟予算でみて、会費徴収しない方向だが要検討(レンタカー代)
- ・案内:「京都労山」7月号に第一次お知らせを掲載する。
- ・次回:ライン会議7月3日

2 60周年記念事業のメインとして、登山道整備を行うのかどうか

○6月7日(土)に実行委員の宮内と西村が登山道整備に参加し、現地で実態調査を行った。(坪山理事長も5月に参加)

- ・現在倒木整備を行っている安祥寺上寺跡右俣は、ダムの上で傾斜もきつく大勢で登山道整備をするのは危険である。当日、8人の参加で朝から15時半頃まで、自分ができる範囲でもくもくと共同して作業した。一体感を強く感じられた。現在の整備箇所候補はB尾根登山道であるが、今後、両名で引き続き何回か参加して、公共性のあるルートで安全に行えるかを調査して報告する。
- ・2023年3月八幡市の男山のこもれびルート廃止通知を受け、伏見山の会がクリーンハイクで整備実施してきた。(今年も30名参加)最近八幡市がルートの復活を発表した。
- ・天王山も、2018年9月の台風18号で登山道がガタガタになったが、大山崎町の行政、住民、島本町の住民の努力で元の状態以上に歩き易い登山道となった。京都労山として大文字山登山道の整備が出来るかを検討していきたい。

3 今後の進め方

記念山行について、数人でグループを作り、グループラインで具体的に検討していき実行委員会へ提案する形をとることとし、メンバー及び責任者は次回確定する

記念山行についての意見・要望 集中登山、継承の面からチャレンジする山を各会で決める等

次回は、6月18日(水) PM7時半から WEB会議

第8回実行委員会(京都労山60周年記念事業)

記録 平尾

2025年7月16日(水) pm7時30分～8時10分 (リモート専用)

敬称略

参加者:永田(西山)、山本(洛中)、宮内(田辺)、金山(福知山)、青山大(やましな)、
岩根(左京)、野原(WAO)、西村、高野、坪山、平尾(連盟)/11人

60周年記念事業 メインテーマ「京都18労山の交流と世代間での経験・技術の継承」
＜今回の内容＞

1 2025 交流会について

メインテーマに沿った内容とする、京都労山の仲間の研修・交流の場とする
ポスト60年を見据えた来年本番での記念事業のカギとなる取り組み。

今交流会が記念事業の最初の企画であり、実行委員の積極的な参加が求められる
担当でライン会議を実施、内容をにつめた

・11月8日(土)、日帰りで実施

・場所:「あかまつの丘 西本梅」(小学校跡地) 南丹市園部町

予約は8/1から(予備で八木市民センターをおさえた)

マイクロバスによる送迎(亀岡駅か園部駅)

・内容:午前は交流ハイク(深山)か研修集会の選択制、午後全体集会
研修集会(各会、クラブ、連盟の活動報告)は、登山学習例会や会員
拡大、連盟専門委員会の取り組み等これからつめる

全体集会(安全登山と登山技術の継承)登山寿命を延ばすための活
動、ヒヤリハットのまとめ、全国ハイキング学校の報告、初級登
山学校を終えて等、誰もが学べる研修会

・費用:参加費は無料、できるだけ多くの参加を募る

運転手付きレンタカー代、会場費(体育館)、下見費用等は連盟予算
から

・案内:「京都労山」8月号に第二次お知らせを掲載する。

申込は各会実行委員がとりまとめる→集約

実行委員は会員を連れてくる、各会の紹介など検討

・次回:ライン会議8月5日

・来年は、3会(らくなん、田辺、山城)が担当で実施 今年の結果をみてか
らどうするか検討していく

2 60周年記念事業として、大文字山倒木整備を行う

・6・7月、実行委員の宮内と西村が登山道整備に参加し、ルート探索を行った

・現在倒木整備を行っている安祥寺上寺跡右俣からトラバース道で行ける「B尾
根登山道」での実施を提案。やる方向で今後整備ルート、作業量の調査を引き
続き行う

(2026年春から実施、10人で10回等詳細を検討していく)

3 次回 8月20日(水) PM7時半から WEB会議 交流会の最終打合せ等

4 今後、実行委員数名で、グループラインで具体的に検討し実行委員会へ提案
する形をとりたい

実行委員内で会計を早めに決めていく

京都労山 60 周年記念事業

《2025 年 交流会》 お知らせ 第 2 号

60 周年記念事業のメインテーマは、

「“京都 18 労山の交流”と“世代間での経験・登山技術の継承”」

一つ目の取り組みとして、“2025 年 交流会”を実施します。誰もが参加でき、学びのある交流会を目指します。

決まった事から随時お知らせしていきますので、多くの参加をお待ちしています。

開催日：11 月 8 日(土) 今年は宿泊での交流会ではありません

場所：あかまつの丘 西本梅^{にしほんめ}(旧西本梅小学校)

◎マイクロバスによる送迎あり

※場所に変更になる場合もありますが、亀岡/園部 周辺で実施します。

内容：午前 ① 交流ハイキング〔深山^{みやま}〕

北摂最高峰で、遮るものが何もない頂上からは 360 度の展望が開けています。行動時間は、3 時間半ほどです。

② 研修集会〔各会・クラブ、連盟の活動報告〕

登山学習例会や会員拡大、連盟専門委員会の取組について、他

午後 ③ 全体集会〔安全登山と登山技術の継承〕

誰もが学べる研修会(登山寿命を伸ばす為の活動、ヒヤリハットのまとめ、全国ハイキング学校の報告、初級登山学校を終えて、他)

※①②は選択制、②③は屋内で実施。雨天時は①を中止し②③のみ実施。

参加費：無料

申込：専用の申込書に会ごとでまとめ、

各会 60 周年実行委員までお願いします。

締切は、10 月 5 日(日)です。

当日の集合時間やタイムテーブルなどは、来月の機関誌で案内します。

詳細などの問い合わせは、各会の 60 周年実行委員までお願いします。

担当：60 周年実行委員会(WAO 亀岡／左京／やましな)

2025 年 7 月 7 日

日本勤労者山岳連盟 理事長 川嶋高志

第 19 回全国登山研究集会の開催について (案)

日頃、労山運動でのご尽力に敬意を表します。

さて、本年 2 月の全国評議会でご承認いただきました全国登山研究集会を、3 年ぶりに大阪市で開催することになりました。

つきましては、下記のとおりご案内いたします。各地方連盟に置かれましてはこの集会成功のために、所属の会クラブに開催の案内・周知をお願いするとともに積極的に取り組んでいただくようお願いいたします。

実 施 要 綱

■テーマ 国民が求める多様な登山要求に対応するための組織強化を図ろう!

■目 的

組織数減少の折から、組織の強化と拡大について具体的な方法を考える。そのために、長く安全に山へ向かう知識と技術、未組織者へのアプローチ、自然保護について考える。

■期 日 2025 年 11 月 15 日(土)~16 日(日)

■会 場 新大阪ユースホステル(大阪府大阪市)

■参加対象 労山会員および全国の登山者

■主 催 日本勤労者山岳連盟

■主 管 全国登山研究集会実行委員会

■日 程

15 日	12:30	受付開始
	13:00	開会あいさつ 日本勤労者山岳連盟理事長あいさつ
	13:10~	基調講演①「これからの労山」(仮題) 川嶋高志(全国連盟理事長) 基調講演②「登山寿命の延長」(仮題) 石川昌(全国連盟副理事長・遭難対策部長)
	16:00~	分科会
	19:00~	夕食・懇親会

16日 7:00～8:00 朝食
9:00～11:00 分科会
11:20～12:00 分科会の報告、全体で質疑・意見とまとめ・解散

☆分科会

- ① 「筋トレ」 月筋力トレーニングによる転倒事故防止と登山寿命の延長、快適な山行について
- ② 「教育」 市民が求める多様な登山要求への組織体制と教育システムについて。
- ③ 「自然保護」 自然保護活動の推進について(大規模開発の問題点)

■参加費用 一泊二食での参加 6,000円

■宿 泊 新大阪ユースホステル

〒533-0033 大阪府大阪市東淀川区東中島 1-13-13 10F

電話 06-6370-5427

■問合せ先 労山全国連盟事務局 TEL 03-3260-6331

FAX03-3235-4324 E-mail iwaf@iwaf.jp

参加申込締切 10月14日(火) 別紙申込書にて全国連盟事務局まで

2025 年 第 19 回全国登山研究集会 参加申込書

都道府県連盟 _____ 団体名 _____

【提出者】 氏名 _____ 電話 _____

メールアドレス _____

参加者名	会員番号または住所・電話番号	性別	年齢	分科会
		男		
		女		
		男		
		女		
		男		
		女		

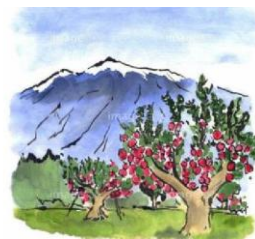
分科会は下記の中から選択して番号を記載してください。

- ① 第1分科会「筋トレ」
- ② 第2分科会「教育」
- ③ 第3分科会「自然保護」

送付先：郵送 〒162-0814 東京都新宿区新小川町5番24号
日本勤労者山岳連盟・事務局あて

FAX 03-3235-4324 メール jwaf@jwaf.jp

参加費（6,000 円）の振込先は、参加者に申込受付後、連絡します。振込が確認されて正式な申込受付となります。



■自然保護委員会 9月27日 第27回自然保護講座 in 青森

2025年9月27日~28日、青森県弘前市で自然保護講座を開催します。

メインテーマは大型風力発電の自然破壊・健康被害です。

当日は「風力発電を地域から考える全国協議会」 共同代表佐々木先生と元秋田県連の道川夫妻が低周波振動による健康被害の実体験を報告します。

講座では各地方が抱えている自然保護の活動報告と問題点の報告をします。

奮って参加して頂き、皆さんと現状を共有しましょう。

各地方連盟の自然保護活動報告の原稿締切日は、8月25日までとさせていただきます。

※ZOOM参加ご希望の方はお申し込みください。

【日 時】 9月27日 14:00~17:30

【場 所】 岩木青少年スポーツセンター

青森県弘前市常盤野湯段范 1-2 (獄温泉) TEL0172-83-2338

【日 程】 9/27:研修室にて講義他 9/28:岩木山登山 (マイクロバスにて移動)

【講 師】 佐々木邦夫 様

「北海道大学非常勤講師・北海道風力発電問題ネットワーク代表」 他

【参加費】 宿泊費用 6000 円+懇親会費 2000 円、 日帰り参加 500 円(資料代

【交流山行】 岩木山の登山 9月28日(日) 希望者のみ(マイクロバス送迎)

【主 管】 青森県動労者山岳連盟

【主 催】 日本動労者山岳連盟・自然保護委員会

【問い合わせ・申込先】 日本動労者山岳連盟 jwaf@jwaf.jp

【申込締切】 8月31日

<コース&タイム> 登り 1h53(3h40)/下り 1h47(2h20)/計 3h49(6h)

<まとめ・報告>

20日(日)

05:48 起床。朝食を済ませ 06:30 音松荘発~昨夕行けなかった洞窟温泉を見に行く。前に大きな建物があって入れず洞窟温泉は見られなかった。浅草岳(三百名山)は日程の都合で登れず。

07:07 大原スキー場登山口P着。登山口には先着車4台。後から5台。二口平からの二口コースや保久礼コースがメインルートだが結構ここから登る人も多い。

07:13 出発。暫くは両側に茅の茂る木道を行く。100m程で急登の山道になり、直ぐに布引ノ滝への分岐。滝は下りの楽しみにして山頂を目指す。ブナの大木が林立する急登をジグザグに登って行く。急登を登り詰めると岩場。眺望の良いエデン尾根稜線。



08:22 沢に出る。二百名山のガイドブックには無い水場。水を飲み暫く行くと草原に出る。

08:28 分岐。1/5 万地図には小烏帽子とあるがその標識は無く、左田小屋・右山頂コースとある。この辺りは草原が続きニッコウキスゲが咲いている。やがて右側が切れ落ちた狭い稜線の道になる。犬を連れた人の他3人を追い越す。



09:06 守門岳(袴岳)登頂。二口コースから来た人達6~7人が寛いでいる。写真を撮って貰えた。ガスで見晴らしは無く、やがて雨に変わりパラパラと降り始める。

09:15 急ぎ下山。途中登りで追い越した人達の他8人とすれ違う。次々登って来る。一度合羽を着たが雨は左程ではなく直ぐに脱ぐ。



09:55 沢。水を飲む。守門岳の山頂は見えないが、深く落ち込んだ大雲沢を挟んで黒姫山・烏帽子山が聳え連なる。

10:30 滝分岐(上)。折角なので布引ノ滝を見に行く。急坂。ロープを頼りに滑らぬ様注意して下る。

10:45 布引ノ滝。落差 80m 程か。細く白い筋が大雲沢に向かって落ちている。谷底が見えない程深い。



10:47 発。この先は少し緩やかな下りだが、所々狭く急な場所には鎖・ロープもある。

黄色いキンギョソウの様な花が数株咲いていた。やがてブナ林の中の緩やかな道になる。黄葉がきっと美しいだろう。

11:02 登山口P着。下りた途端急に激しく雨が降り出す。

シャツだけ着替え八海山へ移動。もし機会があれば登り切った空の下



守門岳にもう一度登りたいものだ。その時は今回登れなかった浅草岳も併せて登りたいと思う。

追悼 土田伸隆さんを偲ぶ

追悼・土田伸隆さん

去る四月、土田伸隆さんが逝去されました。運営委員歴七年、会活動を支えていただきました。登山家としても有名な方。ご冥福を祈ります。味のある文章をブログに投稿されていました。再掲します。



そろそろ「イワナシ」熟したであらうと散歩に二人で出かけました。

わあ！熟してる！！

なんだかうれしくなり六つなっていて二つずつ食べました。口の中で「幸せ」な甘みが広がりました。残る二つは「お向かい」に教えてあげよう。

それにもう一ついいことがあります。映っていました。「カキノハグサ」が咲いていたことです。

土田伸隆

＊京都府勤労者山岳連盟で1993年頃から20年近く会長職にあった土田さんがお亡くなりになりました。「雲ヶ畑・足谷 人と自然の会通信」375号(2025,6,2)で知りました。同団体に許可を頂き「京都労山」8月号に記事を転載します。土田さんのお人柄が伺える内容になっています。謹んでお悔やみ申し上げます。所属されていた「乙訓山の会」から追悼文と写真を同時に掲載します。

京都連盟事務局長 西村悦治

お会いするたびに龍の小屋の建設のこと、思い出の山行など語ってくれました。話術、明るさ、人柄は魅力的でした。

・龍の小屋の持ち主を東吉野村へ訪ね、借用をお願いしたこと、会の総力をかけて建設したこと、また近くのクリンソウの群落地を宕陰の越畑の地主の方から許可を得てネットを張り、「クリンソウの谷」を守ったこと。

・京北の山小屋風の家にも泊めてもらいました。地元の人とオープンカーデンの活動など、その人柄で楽しく進めていました。

・小塩山のカタクリの自生地を西山ネットワークの代表委員として活躍していました。御冥福をお祈ります。

(乙訓山の会 松方隆)



8月号案内 表紙の写真

屋根谷 克己 さん（らくなん山の会）

釜無あつもりそう

入笠山のロープウェイ山上駅の林の中に綺麗に咲いていました。
絶滅危惧種なのでとても珍しい花です。



*最近、あちこちで熊の出没情報があります。
御室の路上で目撃されるなど市街地に出没した
かと思えば、比良のシャクシコバの頭尾根で大
規模な皮はぎ跡が見つかったとか登山道にも痕
跡が発見されています。

もう、登山口に「熊出没注意！」の看板を見ない場所はない、といってもいいくらいで、早朝や夕方に熊鈴だけでは不安になるときもあります。かといって熊スプレーも扱いが難しくて使い方を間違えると大惨事になります。小梨平キャンプ場も食料は鉄製の食料庫に保管する事が義務づけられていて我々の行動を今一度見直す時期かも知れません。

<お知らせ>

表紙のイラストや写真を提供ください

「提案 情報 投稿」原稿を募集しています。
連載企画の内容でも OK です。

労山会員の方やお知り合いで連載を引き受けてくださる方をご紹介します。
例えば「野鳥に詳しい方」「高山植物、野草に詳しい方」「コケやきのこに詳しい方」など会員みなさんに知識を広めてくださる方を募っています

【投稿先】 京都府勤労者山岳連盟 機関誌委員会 高野 寛

メールアドレス hirossan-1954@nifty.com

*原稿サイズ B5版 1行約36字 1頁約36行

*字体 MS明朝体 11P 余白上、左、右各20mm 下23mm

2025年 京都府連盟 月間予定表

8 月（葉月・AUG）		
1	金	
2	土	
3	日	
4	月	自然保護委員会
5	火	事務局長会議
6	水	
7	木	
8	金	
9	土	
10	日	
11	月	山の日
12	火	
13	水	
14	木	
15	金	
16	土	
17	日	
18	月	京都労山印刷 遭難対策委員会
19	火	教育委員会
20	水	
21	木	冬山勉強会 机上：ガイドンス
22	金	
23	土	大文字山登山道整備
24	日	青年・丹後コラボクライミング体験会 5
25	月	常任理事会
26	火	気象勉強会
27	水	初級登山学校修了式
28	木	
29	金	
30	土	
31	日	

9 月（長月・SEP）		
1	月	自然保護委員会
2	火	事務局長会議
3	水	
4	木	
5	金	
6	土	
7	日	青年丹後コラボ クライミング体験会 6 冬山勉強会 実技：体力トレ
8	月	常任理事会
9	火	
10	水	
11	木	
12	金	
13	土	
14	日	
15	月	敬老の日
16	火	京都労山印刷 ハイキング委員会 遭難対策委員会
17	水	
18	木	冬山勉強会 机上：防寒・低体温症
19	金	やまびこ利用日
20	土	
21	日	青年・丹後コラボクライミング体験会 7
22	月	常任理事会
23	火	秋分の日
24	水	気象勉強会 女性委員会
25	木	
26	金	
27	土	大文字山登山道整備 冬山勉強会 実技：体力トレ 全国 第27回自然保護講座 in 青森
28	日	全国 第27回自然保護講座 in 青森
29	月	
30	火	